

第二展示室



小樽の自然—その多様な姿を知る

海と山とが接する小樽は、立体的で変化に富んだ自然に恵まれたまちです。小樽が発展するきっかけとなったニシン漁業・港の建設も、小樽の自然の恵みによるものといえます。第二展示室では小樽に生息する動植物の展示を中心に、複雑で多様な小樽の自然の姿を紹介しています。北海道の森の盟主—ヒグマから昆虫まで、千種類以上の動植物を標本や写真、ジオラマで展示しています。

豊富な自然史資料

当館は開館当初から地域に生息する動植物の標本収集に力を注いできました。第二展示室では当館所蔵の自然史資料の一部、約二千点を展示しています。

展示室中央にある巨大なトドの全身骨格は、銭函海岸に漂着した野生個体のもので、小樽の海の豊かさを示す貴重な標本です。また、小樽に生息する代表的な種類を網羅した、昆虫標本のコレクションも必見です。



トドの全身骨格 (上)

ジョウサンシジミ (左)
オオルリオサムシ (右)



小樽の古代を知る

第二展示室後半には、小樽市西部にある忍路土場遺跡（縄文時代後期・約3500年前）の発掘資料を展示しています。発火具や漆製品など当時の生活を知る上での貴重な資料も公開しています。シミュレーターでは、当時の火起こしを体験できます。

利用案内

- 開館時間 / 午前9時30分～午後5時
- 休館日 / 年末年始（12月29日から1月3日）
※上記以外に臨時休館する場合があります
- 入館料 / 中学生以下無料

普通入館料	運河館	共通入館料 本館・運河館に入館可	年間パスポート 本館・運河館 共通 1年間有効
一般	300円	500円	1000円
高校生および 市内在住の70歳以上の方	150円	250円	500円

- 団体利用（20名以上）は2割引
- 身体障害者手帳などをお持ちの方、およびその介護者は無料です
- 特別展などの場合には、特別料金を設けることがあります

交通のご案内



小樽への交通 【JR】 札幌駅より快速列車で33分。普通列車で50分。新千歳空港より快速列車で75分。
【高速バス】 札幌駅前ターミナルより約50分。（中央バス・JRバス共同運行）

関連施設

- 小樽市総合博物館 本館（当館より徒歩20分）TEL 0134-33-2523
重要文化財を含む北海道の鉄道のあゆみ、科学の面白さを紹介しています。

小樽市総合博物館 運河館

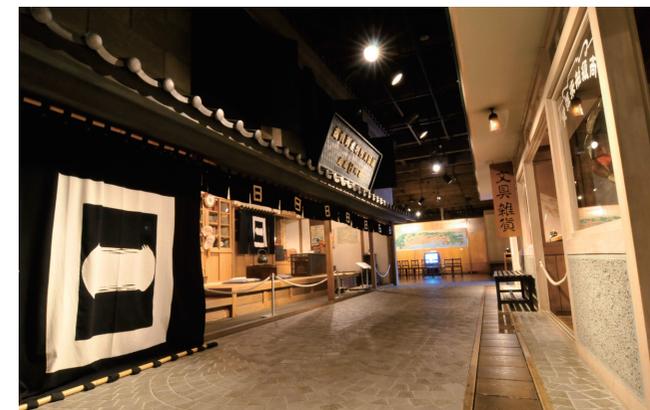


〒047-0031 小樽市色内2丁目1番20号
TEL 0134-22-1258 FAX 0134-22-2350

<http://www.city.otaru.lg.jp/simin/sisetu/museum>

小樽市総合博物館

運河館



「小樽」を知る

美しく豊かな自然と
活気ある人々の交流に育まれた
小樽の歴史と自然を紹介しています



第一展示室

小樽の歴史—まちのあゆみを知る



小樽はアイヌ文化の長い歴史の後、江戸時代後半に始まるニシン漁業と、明治時代以降の港湾整備によって発展したまちです。明治から大正にかけては、北海道の玄関として、また北海道一の経済都市としてその名をとどろかせました。そして小樽運河はその繁栄を象徴する存在でした。

第一展示室では、アイヌの時代から近代までの小樽のあゆみを、さまざまな角度から紹介しています。北海道と本州を結んだ北前船に関する資料、ニシン漁業に関する資料、小樽のまちの変遷を記録した古写真と古地図が主な見どころです。

また展示室後半には、小樽がもつとも華やかであった大正時代の街並みを復元しています。古い電話やオルガンに触れられるコーナーもあります。



北前船の模型と実物の帆 (上)
倉庫の壁に使われる軟石を切り出した道具



鯨盛業屏風 (左)
ニシン漁業を描いた六曲一双の屏風。詳しい作業行程や当時の風俗を知ることができる貴重な資料です

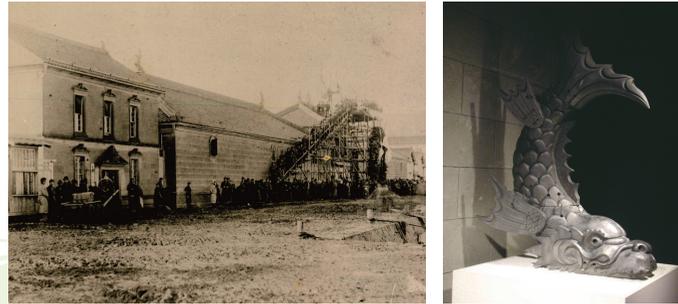


ニシン漁の漁具 (左) 大たも、もっこ、あんばい棒など



大日本職業別明細図之内小樽市 (右)
大正時代の小樽市内の店舗・会社の位置が詳しく記載されています

歴史的建造物 旧小樽倉庫



(左) 小樽倉庫株式会社開業式 (右) 瓦製のシャチホコ

当館は明治 26 (1893) 年に建てられた「旧小樽倉庫」の一部を利用して開館しています。小樽倉庫は加賀の商人西出孫左衛門、西谷庄八によってつくられた営業用倉庫で、穀物や海産物などを預り受ける事業に使用されていました。

建物は木造の外壁に軟石を張り巡らせた「木骨石造」と呼ばれる、小樽の倉庫建築独特の様式になっています。屋根は北海道では珍しい瓦ぶきで、大きなシャチホコが上げられていることも特徴的です。

収蔵資料とデジタルアーカイブス

当館では、小樽市の歴史や文化、自然に関する資料の収集・保存事業を続けており、収蔵資料の点数は十萬点以上上ります。常時公開している資料はその一部にすぎませんが、それ以外にも様々な機会で開催・活用を行っています。

中でも二萬点に達する古写真のコレクションは、当館を代表する収蔵資料です。これらはデジタルデータ化され、展示の他にも、出版物や映像の制作など様々な場面で活用されています。展示でご覧いただけない写真は、館内に備え付けのパソコンで検索・閲覧することができます。また、プリントアウトのサービス (有料) も行っておりますので、お気軽にご利用下さい。



(左上) 明治時代の小樽倉庫
(左下) 雪景色と人力漕 大正時代
(右) オタモイ龍宮閣 昭和戦前期

トピック展とギャラリートーク



展示室の一角では「トピック展」を開催しています。普段公開していない収蔵資料や、新しく収集した新着資料などを様々なテーマで年に3~4回開催しています。展示資料について学芸員が解説する「ギャラリートーク」も定期的に開催しています。当館ホームページなどでお知らせしておりますので、ご確認ください。

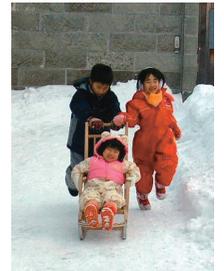
また、団体や学校の見学向けの解説も行っております (要予約)。お気軽にお問い合わせ下さい。



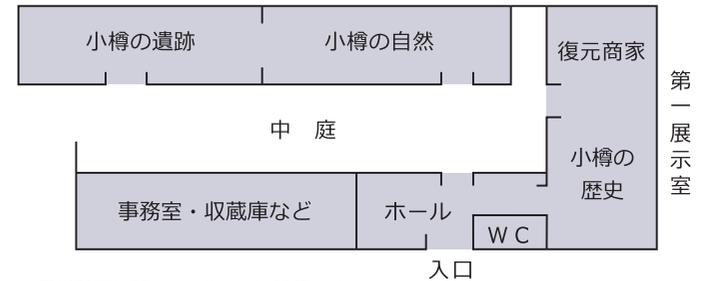
郷土の文化に楽しく触れる・学ぶ

ひなまつりやこどもの日など、伝統的な行事や文化に親しむことができるイベントを季節ごとに開催しています。また、中庭では独楽やけん玉、冬のそり遊びなど、昔ながらの子供の遊びを楽しむことができます。

(左上) ひなまつり (右上) 高島越後盆踊りの実演
(下) 中庭でのそり遊び



第二展示室



- 見学所要時間は 30 分~1 時間程です。
- 車椅子用のトイレがございます。